

第一〇 官公吏及文書

縣 官 及 吏 員

(大正十四年末現在)

階	級	人 員	俸 給 月 額	階	級	人 員	俸 給 月 額
知 事	知 事	1	433	合 計	警 察 部	2	145
		1	83			14	1,295
		6	394			39	1,548
		6	345			10	404
		8	193			4	159
		22	1,448			184	11,753
		1	375			1	258
		3	517			3	367
		1	157			1	100
		1	60			28	2,196
		6	1,158			2	170
		2	260			5	425
		35	2,531			3	73
		12	882			43	3,589
		1	100			6	837
		14	389			35	2,056
		76	6,429			13	803
		2	308			2	112
		4	462			676	30,310
		2	317			8	221
		39	2,848			740	34,339
		7	398			1,065	57,557
13	1,012	1,120	59,191				
2	130	1,042	55,165				
4	212	1,005	58,949				
22	1,250	1,205	60,662				
20	1,264						

市 町 村 吏 員

(大正十四年末現在)

市 吏 員	人 員	支 給 月 額	町 村 吏 員	人 員	支 給 月 額			
					月 額	報 酬	計	
市 助 收 參 技 主 視 書 書 技 技 掃 掃 事 常 學	2	583	町 村 長 {名譽職 給	285	—	11,422	11,422	
	2	375		33	2,275	—	2,275	
	2	258						
	12	—		助 役 {名譽職 給	193	—	5,910	5,910
	4	917			149	6,684	—	6,684
	2	275		收 入 役	326	13,864	—	13,864
	2	250		常 設 委 員 (名譽職)	971	—	651	651
	55	3,471		學 務 委 員	1,280	—	377	377
	20	849		書 記 及 其 他	915	32,099	—	32,099
	14	1,265		事 務 雇 員	113	2,921	—	2,921
	9	406		區 長 及 代 理 者	4,307	—	3,133	3,133
	2	140		合 計	8,572	57,843	21,493	79,336
	9	439						
	19	737						
	38	—						
19	—							

文書ノ收發件數

年次	收				發			
	知事官房	内務部	警察部	計	知事官房	内務部	警察部	計
大正十四年	4,749 ^件	92,859 ^件	95,637 ^件	193,245 ^件	15,338 ^件	98,874 ^件	95,180 ^件	209,392 ^件
同十三年	5,099	99,663	107,942	272,704	5,159	111,666	90,720	207,545
同十二年	4,369	99,923	76,444	180,736	3,876	93,650	69,331	166,857
同十一年	4,116	81,332	94,732	180,210	4,178	67,948	69,322	141,448
同十年	3,930	77,252	87,050	168,232	3,544	65,192	81,596	151,052

附 錄

縣 治 ノ 沿 革

美濃飛驒ノ二國ハ其國史ニ顯レタルモノ極メテ古キモ往昔政治ノ狀ハ今之ヲ詳ニセス依テ舊記ニ從ヒテ其ノ概要ヲ記述ス

一 德川氏以前

美 濃 國

孝徳ノ世國府ヲ不破郡ニ置キ源頼朝幕府ヲ鎌倉ニ建ツルニ及ヒ土岐光衡ヲシテ當國ノ守護タラシム光衡ノ裔頼貞當國ノ守護ニ任シ子孫世襲シ宗族最モ強盛ナリ天文十一年土岐氏ノ臣齋藤秀龍其ノ主頼藝ヲ逐ヒ自立シテ守護ト稱シ稻葉山ニ居ル孫龍興ニ至リ西濃ノ著族不破、安藝、氏家、稻藝等皆款ヲ織田信長ニ通ス永祿七年信長大舉シ來リ伐チ龍興近江ニ奔リ當國信長ニ歸ス同十年信長弒セラレ其ノ子信孝當國ヲ管シ岐阜城ニ居ル兄信雄豐臣秀吉ニ黨シテ信孝ヲ誘殺ス秀吉池田信輝ヲシテ大垣ニ鎮セシメ金山城ヲ森長可ニ與ヘ州事ヲ監セシム信輝死シ嗣子輝政岐阜ニ徙ル十八年秀吉輝政ヲ三河吉田ニ徙シ信忠ノ子秀信ヲシテ岐阜ニ鎮セシム慶長ノ役秀信西軍ニ屬シ城陥リ出亡シ岐阜城廢城セララル

飛 驒 國

國府ヲ大野郡ニ置ク建久四年俗人多好方荒城郡(今ノ吉城)ノ地頭トナリ子孫相襲ケリ北條氏ノ末葉美濃ノ守護小笠原貞宗州事ヲ兼知ス建武中興藤原高基國司ニ任シ世々小島ニ居ル足利尊氏ノ反スルヤ貞宗之ニ應シ子長政ニ至ルマテ州事ヲ兼管シテ國司ト相抗ス國司相傳フル三世尹綱ニ至リ應永中、將軍義持、京極高數等ヲシテ來リ攻メシム尹綱敗死ス義持尹綱ノ從子師言ヲシテ國司ヲ襲カシム文明中尹綱ノ子基綱復國司トナリ細江ニ居ル初メ高數家臣三木則綱ヲシテ竹原郷ニ居ラシム爾後國司ノ令復國中ニ行ハレス則綱ノ孫直頼近隣ヲ侵掠シ櫻洞城ヲ築キ徙リテ之ニ居シ子良綱姉小路氏ヲ冒シ名ヲ嗣賴ト改ム子自綱ニ至リ高山、山田ノ二氏ヲ亡シ尋テ鍋山、畑、岡本ノ諸族ヲ降シ城ヲ松倉ニ築キ之ニ徙ル又江馬、廣瀬、小島、牛丸ノ諸黨ヲ芟滅シ殆ト全國ヲ征服セリ天正十三年豊臣秀吉、金森長近ヲシテ之ヲ擊タシム自綱拒キ戰ヒ克タスシテ出亡ス長近ヲ封シテ高山ニ治セシム秀吉薨シテ德川氏ニ屬セリ

二 德川氏時代

美 濃 國

慶長六年石川康通ヲ大垣ニ封セシカ寛永十一年戸田氏鐵之ニ代リ曾孫氏定其弟氏成ニ新田ヲ與ヘテ支封トナス其ノ他尾張ノ宰臣竹腰正信ヲ今尾ニ封シ奥平保昌ヲ加納ニ德永壽昌ヲ高須ニ遠藤慶隆ヲ郡上ニ松平家乘ヲ岩村ニ遠山友政ヲ苗木ニ後本庄道芳ヲ高富ニ封シ幕府直轄ノ地ニ郡代ヲ置ク其ノ他尾張藩ノ領地アリ幕府麾下ノ采地アリ其所屬所々ニ散在シ犬牙錯綜セリ

飛 驒 國

金森長近ヨリ六世ノ孫頼時ニ至リ元祿中德川氏其封ヲ上山(出羽)ニ徙シ前田綱記ニ命シテ戍隊ヲ高山ニ置キ代官伊奈氏田賦ヲ掌ル既ニシテ戍ヲ罷メ城ヲ毀チ更ニ郡代ヲ置キ州事ヲ統ヘシメ以テ維新ニ及ヘリ

三 維新以後

美 濃 國

明治元年笠松ニ裁判所ヲ設ケ次テ之ヲ廢シ更ニ笠松縣ヲ置キ縣知事ヲシテ各藩地外ノ政治ヲ掌ラシメ四年藩ヲ廢シ縣トナシ尋テ同縣ヲ廢シ岐阜縣ヲ置キ美濃一國ヲ管ス

飛 驒 國

明治元年四月笠松裁判所總督ノ兼管トナル同年六月高山縣ヲ置キ本國ヲ管ス後廢シテ筑摩縣ニ合ス同九年八月筑摩縣ノ廢セララル、ヤ岐阜縣ノ管理ニ屬シ以テ今日ニ及ヘリ